



茨城のネットショップの情報交換と
交流の場「どっとこむいばらき」

会長 杉山 勉

<http://dotcom-ibaraki.jp/>

インターネットを集客に活用しよう(その1)

皆様ご存知の通り、昨年九月のリーマンショック以来、世界経済が急激に悪化しています。

「トヨタ、千五百億円の営業赤字に」
〇九年三ヶ月期連結決算 トヨタ自動車は二十二日、二〇〇九年三ヶ月期連結決算(米国会計基準)の業績予想を下方修正し、本業のもうけを示す営業利益が千五百億円の赤字になると発表しました。トヨタは十一月の中間決算発表時に、連結営業利益の見通しを当初予想から一兆円減額して六千億円の下方修正していたが、世界的な新車販売の落ち込みや円高の進行を受け、再度の下方修正を余儀なくされた。(二〇〇八

年十二月二十二日読売新聞)

”あの「トヨタが、わずか数ヶ月のうち、営業利益の予想を一兆六千億円の黒字から千五百億円の赤字に修正しているのです。

さらに連日の「不況だ、不況だ」のマスコミ報道もあって消費者心理は冷え込んでいます(もちろんマスコミ報道だけが理由ではありませんが)。

ところが(だからこそ)今回はあえて景気のいい話をお届けします。もちろん単なる強がりの話ではありません。

結論を言ってしまうと、「インターネットを活用して集客する市場は今がチャンス。インターネットで集客しよう」ということです。

一月十四日に、東京で開催された「楽天新春カンファレンス二〇〇九」に行ってきました。楽天市場に参画するネットショップが一同に会し、前年度の優秀店舗の表彰と楽天の今年度の営業方針の発表などがある集まりです。

約三千人の参加者を前に、楽天の木谷社長がおっしゃったのは、「楽天市場は前年比約二十五%の成長。現在約六千八百億円の楽天市場の流通総額(〇)を二〇一二年に二兆円にする」ということ。「楽天市場」出店店舗の販売額合計)わずか四年で三倍にするという計画です。

こんな新聞報道もありました。

「ボーナス商戦、ネット通販は売り上げ最高 百貨店や家電量販店の不振をよそに、ネット通販のボーナス商戦は大商いとなっている。楽天とヤフーの通販サイトの売上高は十四日、過去最高を記録。アマゾンも暖房器具や食品の売り上げが伸びた。旅行をやめて地方の名産品を取り寄せる消費者も増えている。楽天の仮想商店街「楽天市場」は十四日だけの売上高が三十億円を突破した。同市場を立ち上げて以来、最高額となった。十四日は民間企業に続いて公務員にもボーナスが支給された初の日曜で、家電製品からカニなどのグルメ食材まで販売が好調だった。(日経新聞二〇〇八年十二月)

「不況直撃の米年末商戦、ネット通販・アマゾンが一人勝ち」【ニューヨーク「池松洋」米クレジットカード大手マスターカードの関連会社が二十六日発表した十一月一日〜十二月二十四日までの米小売り売上高(ガソリンを除く)の推計は、前年同期比二四%減で、米年末商戦が不調に終わった。(中略)「厳しい経済環境に加えて悪天候が、ここ数十年で最も厳しい年末商戦になった原因」と分析した。一方、インターネット通販大手のアマゾン・ドット・コムは二十六日、全世界での年末商戦の売上高が一九九五年の

創業以来、過去最高となったと発表しました。(二〇〇八年十二月二十七日読売新聞)

まさにネット通販業界の好調さが際立っています。

楽天新春カンファレンスでは、約二万五千店舗を誇る楽天市場の中から二〇〇八年のベストショップを決める、「ショップ・オブ・ザ・イヤー」が発表されました。

今年のグランプリ(総合一位)はケンコーコムさん。日本最大級の健康関連商品の通販サイトです。

ネット通販を始めた月の売上は二十万円ほどだったそうですが、現在は楽天で三十一億円売り上げているそうです。

すばらしい成長ですが、ネット通販業界では珍しいケースではありません。むしろ初月から大きな売上げがあるほうがまれでしょう。会場は熱気に包まれ不況の気配は感じられませんした。

というところで紙面が尽きました。次号に続きます。

【ご注意】楽天カンファレンスの中の数字は、私がメモしたものです。間違いのあった場合はお詫びいたします。ご容赦ください。